

問1 関東地方の産業について述べた次の文のうち、京浜工業地帯の説明として最も適切なものはどれか。 (2022年 青森県公立入試 類似)

1. 東京都と神奈川県にまたがり、東京湾臨海部の埋立地などに多くの工場が立地している。
2. 千葉県の東京湾岸に広がり、石油化学コンビナートや製鉄所が集中している。
3. 内陸部の高速道路沿いに工業団地が造成され、機械工業が発達している。
4. 愛知県を中心として広がり、自動車産業が盛んで日本最大の製造品出荷額を誇る。

問2 日本の都道府県別の統計において、年間の日照時間が2000時間を超えて長いにもかかわらず、住宅用太陽光発電機器の設置数が5万件未満と、日照時間に比例せず少なくなっている地域があります。このように、日照条件が良いにもかかわらず設置数が伸び悩む主な要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 秋田県公立入試 類似)

1. 人口密度が高く、マンションなどの集合住宅や借家の割合が高いという住宅事情があるため
2. 平地が少なく山地が多いため、住宅の日常たりを確保することが困難であるため
3. 土地の価格が安く、個人住宅よりも大規模なメガソーラーの建設が優先されているため
4. 製造業が盛んな地域であり、家庭用よりも工場向けの電力供給が優先されているため

問3 つくば市の人口統計において、昼間人口を夜間人口に割って100を掛けた「昼夜間人口比率」が100%前後で推移している理由として、都市の特徴から考察した説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)

1. 都心へ通勤する住民が極端に多いため、夜間人口が昼間人口を常に上回る典型的なベッドタウンとなっているから
2. 研究機関や大学が集積して市外からの通勤・通学者が多い一方で、鉄道網の整備により居住する住民も増えているから
3. 市中心部には商業施設や官公庁のみが集中し、周辺部に居住者が分散するドーナツ化現象が顕著に現れているから
4. 鉄道開業以降、市外への通勤者と市外からの通勤者の双方が激減し、市内だけで経済活動が完結するようになったから

問4 関東平野の地形的な特徴とその土地利用について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)

1. 九州南部に見られるシラス台地と同様の構造を持ち、大規模な畜産を主目的とした土地利用が全域でなされている。
2. 関東平野を構成する赤土の層は、かつて海底であった場所が隆起してできたものであり、塩分を多く含んでいる。
3. 利根川などの河川沿いの低地には火山灰が厚く堆積しているため、水持ちが悪く稲作には全く適していない。
4. 火山灰が堆積して形成された水はけの良い台地が広がっており、古くから畑作や平地林として利用されてきた。

問5 日本では、政治・経済・文化などの諸機能が東京都に高度に集積し、周辺地域から人口や資本が過度に流入する現象が続いています。地方との格差や、大規模災害時のリスク分散の観点から課題となっているこの現象を何と呼びますか。 (2025年 奈良県公立入試 類似)

1. ドーナツ化現象
2. 東京一極集中
3. スプロール現象
4. ストロー現象

問6 1970年代初頭から2019年にかけての関東地方における工業出荷額の統計的な変化について、正しく述べているものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)

1. 産業構造の変化により繊維工業の出荷額が急増し、2019年には地域全体の出荷額の約2割強を占めるようになった
2. 輸送用機械の出荷額は1971年時点がピークであり、2019年にかけて出荷額・割合ともに減少を続けている
3. 総出荷額が約3.8兆円から約30.5兆円へと大幅に増大し、中でも輸送用機械の占める割合が全体の2割を超えるまで上昇した
4. 総出荷額は横ばいであるが、航空機産業の出荷額が約6.7兆円に達し、輸送用機械に代わる基幹産業となった

問7 千葉県浦安市付近の地形図を用いた地域調査において、河川沿いに位置する「建物が密集し、細い路地が入り組んだ古い商家の建物が残る地区」を調査対象としました。このような地区の景観や土地利用に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)

1. 高度経済成長期以降に海を埋め立てて造成された工業地帯
2. 古くからの町並みや伝統的な商業活動の面影を残す地区
3. 近年、大規模な再開発によって計画的に整備された新市街地
4. 等高線が密に描かれる、傾斜地の森林を切り開いた住宅地

問8 鎌倉市に見られる「亀ヶ谷坂切通」のような「切通」が、この地域の歴史において重要な役割を果たした背景と、地形図から読み取れる特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 東京都公立入試 類似)

1. 三方を山に囲まれた鎌倉の防衛機能を保ちつつ、外部との交通を確保するために山を削って造られたため、断面図で見ると等高線が一点に集中し、道の中央で標高が最も高くなる。
2. 敵の侵入を遅らせるために複雑な迷路状の堀として造られたため、断面図で見ると等高線が一点に集中し、全区間で標高差がない。
3. 海沿いの平坦な土地を拡大するための埋め立て資材を採掘した跡地を道として利用したため、周辺の住宅地よりも標高が低くなっている。
4. 大規模な耕作地を確保するために山の斜面を階段状に削って造られたため、出発地点から到着地点まで標高が階段状に変化する。

問9 18世紀初頭の日本の農業生産において、全体としては田の面積が畑の面積を上回る中で、例外的に畑の面積の方が広がった地域はどこですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)

1. 関東地方
2. 九州地方
3. 東北地方
4. 近畿地方

問10 関東地方に位置する茨城県は、野菜の産出額が約1890億円という非常に高い数値を記録しています。このように、巨大な消費地である東京などの首都圏への近さを活かし、新鮮な野菜を大量に供給する農業の形態を何と呼びますか。 (2019年 三重県公立入試 類似)

1. 施設園芸
2. 促成栽培
3. 抑制栽培
4. 近郊農業

問11 東京湾の西岸から北岸の臨海部に位置し、東京都から神奈川県横浜市、川崎市などを中心に広がる工業地帯の名称はどれか。 (2022年 青森県公立入試 類似)

1. 京葉工業地域
2. 京浜工業地帯
3. 北関東工業地域
4. 中京工業地帯

問12 栃木県の産業について、足尾銅山のような歴史的背景を持つ鉱業から、現代の工業へとどのように変化しましたか。現在の栃木県の工業的特徴を説明したものとして最も適切なものを選んでください。 (2023年 京都府公立入試 類似)

1. 渡良瀬川の水力を利用したアルミニウム精錬が、県を代表する製造業となっている。
2. 東北自動車道などの高速道路沿いに、自動車や電気機器などの機械工業の工場が多く進出している。
3. 広大な平野を活かし、製鉄所や石油化学コンビナートが立ち並ぶ重化学工業地帯を形成している。
4. 輸出入向けの絹織物を中心とした軽工業が、現在も県全体の製造品出荷額の大部分を占めている。

問13 日本の都道府県の統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり1,000人を超え、人口が増加傾向にある県があります。この県は、大規模な工業地域を背景とした高い製造品出荷額を誇ると同時に、全国でも上位の野菜産出額を記録しているのが特徴です。この県はどこですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)

1. 宮城県
2. 秋田県
3. 千葉県
4. 神奈川県